

## Ⅲ 授業時間、履修上の注意、対応事務室

### (1) 学 期 (授業期間等)

本学では、学生・教員の国際交流を進める見地から開学以来3学期制を採用しています。

授業期間は、年度毎に学年暦で定められており、各授業科目の授業は、原則として期末試験を含め各学期とも11週以上に行われて行われます。

学期の期間は次のとおりです。

第1学期： 4月1日～ 7月31日

第2学期： 8月1日～11月30日

第3学期： 12月1日～ 3月31日

### (2) 授業時間

授業時間の区分は、次のとおりです。(1時限＝75分)

【筑波キャンパス】(月曜日～金曜日開講)

時 限	開始時間～終了時間	休憩時間
第1時限	8:40 ～ 9:55	9:55 ～ 10:10
第2時限	10:10 ～ 11:25	11:25 ～ 12:15
第3時限	12:15 ～ 13:30	13:30 ～ 13:45
第4時限	13:45 ～ 15:00	15:00 ～ 15:15
第5時限	15:15 ～ 16:30	16:30 ～ 16:45
第6時限	16:45 ～ 18:00	

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例に係る授業時間

時 限	開始時間～終了時間	休憩時間
第7時限	18:00 ～ 19:15	19:15 ～ 19:20
第8時限	19:20 ～ 20:35	

【東京キャンパス】(火曜日～土曜日開講。ただし、火曜日～金曜日は第7時限及び第8時限開講、

土曜日は第2時限～第7時限開講)

時 限	開始時間～終了時間	休憩時間
第1時限	8:55 ～ 10:10	10:10 ～ 10:20
第2時限	10:20 ～ 11:35	11:35 ～ 11:45
第3時限	11:45 ～ 13:00	13:00 ～ 13:45
第4時限	13:45 ～ 15:00	15:00 ～ 15:10
第5時限	15:10 ～ 16:25	16:25 ～ 16:35
第6時限	16:35 ～ 17:50	17:50 ～ 18:20
第7時限	18:20 ～ 19:35	19:35 ～ 19:45
第8時限	19:45 ～ 21:00	

### (3) 単位と時間

1単位の授業時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準によるものとします。

講義、演習 15時間～30時間 1単位

実験、実習、実技 30時間～45時間 1単位

※ 本学では、1時限（75分）の授業を1.5時間（90分）として計算しています。

### (4) 授業方法

授業科目は、講義・実験・演習等で行っておりますが、2つ以上の授業方法を併用する授業科目もあります。大学院便覧においては各開設科目の授業方法を下記一覧のとおり表記しています。

記号	授業方法	記号	授業方法
A	講義	E	講義と実習・実験
B	演習	F	演習と実習・実験
C	実習・実験	G	講義と演習と実習・実験
D	講義と演習	H	A～G 以外

※ 「H」は、大学設置基準第21条第3項によりA～Gの基準によらない科目

### (5) 成績評価と試験

#### ① 成績評価

成績評価は、授業担当教員が、試験結果及び授業出席状況その他を加味して判定し、下記によりA、B、C及びDの4段階に分けて評価します。Dは不合格として単位は授与しません。（成績証明書に記載されるのは、単位が授与されたA、B又はC評価の科目です。）

【成績評価基準】

A：80～100点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下

なお、成績は学期毎に試験の結果等に基づき評価されますが、科目の最終評価及び単位の授与は、最終学期において総合評価により行われます。

#### ② 試験等

試験等とは、学期末の試験期間内に行う期末試験、担当教員が授業の中で行う試験及びレポート等です。

試験期間は、各学期末に設けられており、当該期間内は原則として通常の授業は行いません。

### (6) 科目表の表記

- 網掛けしてある科目については、科目等履修生の受入れはありません（履修できません）。
- 曜時限が「集中」又は「不定期」の科目は、毎週決められた曜時限に授業を行うのではなく、開講日時が不規則又は未決定の授業であることを示します。科目等履修生の方は、入学後に決定した開講日時に授業を受けることが困難であっても、入学料及び授業料を返還することはできませんので、ご注意ください。
- 担当教員欄が（ ）の科目は、後日担当教員が決定することを示します。
- 備考欄の「必修」は、正規の大学院生の必修科目であることを示します。
- 備考欄の（英）は英語で実施する授業科目を示し、「英」は要望があれば英語でも実施可能な授業科目を示します。
- 備考欄の「連携」は連携大学院方式に関する授業科目を示します。
- 備考欄の「非」は、当該教員が非常勤講師であることを示します。
- 14条対応とは、大学院設置基準（教育方法の特例）14条で次のとおり定められています。

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育を行うことができる。」

## (7) 研究科対応事務室（対応支援室）

本学では、学生をサポートするための事務組織として支援室を設置し、各種願出の提出、履修相談、授業料免除及び奨学金等の手続について対応しています。

各研究科の対応支援室は次のとおりです。何かあったときは支援室にご相談ください。

また、支援室とは別に研究科事務室、専攻事務室でも対応しています。

研究科	対応支援室	場 所
教育研究科	人間系支援室	2A棟2階
人文社会科学研究科	人文社会科学等支援室	1A棟3階
ビジネス科学研究科	ビジネス科学等支援室	東京キャンパス(文京校舎3階)
数理工学科学研究科	数理工学等支援室	1A棟3階
システム情報工学研究科	システム情報工学等支援室	3A棟2階
生命環境科学研究科	生命環境科学等支援室	2B棟3階
人間総合科学研究科 教育学専攻、心理専攻、障害科学専攻、教育基礎学専攻、学校教育学専攻、心理学専攻、障害科学専攻、心身障害学専攻	人間系支援室	2A棟2階
人間総合科学研究科 芸術専攻、世界遺産専攻、感性認知脳科学専攻、体育学専攻、ヒューマン・ケア科学専攻、スポーツ医学専攻、体育科学専攻、コーチング学専攻、世界文化遺産学専攻	体育芸術系支援室	5C棟2階
人間総合科学研究科 看護科学専攻、フロンティア医科学専攻、生命システム医学専攻、疾患制御医学専攻、	医学系支援室	4A棟2階
人間総合科学研究科 生涯発達専攻、スポーツ健康システム・マネジメント専攻、生涯発達科学専攻	ビジネス科学等支援室	東京キャンパス(文京校舎3階)
図書館情報メディア研究科	図書館情報等支援室	7B棟2階

## (8) 教室表示

大学院便覧における教室は次の例のように略号で表示されています。棟名を省略している場合や教室が記載されていないなど、不明な点是对応支援室大学院教務担当、研究科・専攻事務室等に問い合わせてください。

教室名 (便覧表示)	棟 名 ・ 階
1 E 1 0 7	1 E 棟 1 階 (旧第一学群棟)
2 A 3 0 1	2 A 棟 3 階 (旧第二学群棟)
3 B 2 1 9	3 B 棟 2 階 (旧第三学群棟)
5 C . . .	5 C 棟 (旧体育・芸術専門学群棟)
6 A . . .	6 A 棟 (旧芸術専門学群棟A)
7 A . . .	7 A 棟 (旧図書館情報専門学群棟A)
8 B . . .	文科系修士棟 B 棟

教室名 (便覧表示)	棟 名 ・ 階
理 B . . .	理科系修士棟 B 棟
人間 . . .	人間系学系棟
人社 . . .	人文・社会学系棟
自 B . . .	自然系学系棟 B 棟
総 A . . .	総合研究棟A
生農 . . .	生物・農林学系棟